

大覚大僧正題目石

指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	だいかくだいそうじょうだいまくいし
所在地	総社市
指定年月日	昭和34年1月13日
解説	暦応5年(1342)の造立。大理石製の笠塔婆。総高2.24m。大覚大僧正(1297～1364)の備中における活動を示す遺構の一つ。南北朝初期に日蓮宗布教のために大覚大僧正が滞在したといわれる。塔身の正面と両側面に髭題目(ひげだいまく)を刻し、背面に銘文を刻んでいる。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	